

みやぎ環境税

みやぎの豊かな環境を守り、次の世代へ引き継いでいこう

令和5年度事業を紹介しします



みやぎの豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくために、平成23年4月から「みやぎ環境税」を導入し、さまざまな事業に取り組んでいます。

「新みやぎグリーン戦略プラン」(改定版)で定めた「みやぎの目指す姿」の実現と、新たな地球温暖化対策・再エネ関連計画である「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の着実な実行に向けて、「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 NOW OR NEVER」(今しかない)のスローガンの下、次の事業に取り組みます。

県実施事業「59事業」

▼17億928万円
五つの視点に応じたさまざまな事業を実施します。

市町村の環境対策を支援します。

みやぎの目指す姿

- 脱炭素社会の構築に向け、環境に配慮した生活・産業を推進する宮城県
- 地球温暖化対策と美しく安全な県土づくりのため、森林を生かす育む宮城県
- 気候変動の影響への適応力を備えた、強く柔軟な宮城県
- 地域循環共生圏の形成に向け、人と自然環境との輪を守り育てる宮城県

みやぎ環境税の仕組みに関するお問い合わせ課

☎ 022(211)2323

みやぎ環境税の使い道に関するお問い合わせ課

☎ 022(211)2661

視点3 気候変動の影響への適応

11事業・・・4527万円

気温や海水温の上昇など、気候変動の影響によって生じる(または生じる恐れのある)被害を回避・軽減する取り組み(気候変動適応策)を推進します。

海水温上昇に対応した持続的養殖探索事業

702万円



海水温上昇に適応可能な海藻などの増養殖試験を行うとともに、ブルーカーボン*の考え方について漁業関係者に普及啓発を図ります。

※海藻などによる二酸化炭素吸収効果

増養殖試験で収穫されたアカモク

閉鎖性水域水質保全事業【新規事業】

850万円

釜房ダム貯水池について、水質予測モデルによるシミュレーションにより気候変動に伴う将来の水質変化を予測し、貯水池管理や水道用水の浄水処理における異臭物質などへの対策を推進します。



上空から見た釜房ダムとその流域

視点4 生物多様性、自然・海洋環境の保全

14事業・・・1億1378万円

生物多様性を育む豊かな自然・海洋環境の保全・再生のための取り組みを推進します。

野生鳥獣適正保護管理事業

1876万円



生息域拡大が著しいニホンジカ・イノシシの個体数の適正管理に向けた取り組みを強化するとともに、有害鳥獣捕獲隊員の確保につながるハンター養成講座を実施します。

ニホンジカ捕獲活動の様子

湿地環境保全・利活用事業

2500万円

多種多様な生物が生息する淡水湖沼の生態系を有していた伊豆沼・内沼への再生を目指し、自然再生事業を実施するとともに、水生植物園の整備などを通してワイズユース*を推進します。



※湿地から得られる恵みを持続可能な形で利用すること

市町村支援事業(みやぎ環境交付金)

3億2000万円

市町村へ「みやぎ環境交付金」を交付し、市町村が行う地域の環境課題の解決に向けた事業を支援します。

メニュー選択型事業 2億9000万円

事業メニュー分類に該当する取り組みから、市町村が地域の実情に応じて選択し、実施する事業を支援します。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ① 公共施設などにおけるCO ₂ 削減対策 | ④ 野生鳥獣対策 |
| ② 照明のLED化 | ⑤ 環境緑化 |
| ③ 自然・海洋環境保全 | ⑥ 再エネ・省エネ機器等導入支援 |
| | ⑦ 気候変動の影響への適応 |

市町村提案型事業 3000万円

地域の環境課題の解決に向けた取り組みを、市町村が創意工夫して提案し、実施する事業を支援します。

- <令和5年度に実施する事業>
- 家庭用除湿機などからのフロン回収体制構築に向けた実証事業【仙台市】
 - 万葉植物*の植栽により多賀城跡周辺の緑化を図り、自然環境の保全を推進する事業【多賀城市】
※万葉集に詠まれた植物
 - 屋敷林(居久根*)が周辺の生物多様性に及ぼす影響を調査し、自然環境の保全を推進する事業【大崎市】
※宮城県などにおける屋敷林の呼称
 - ソーラー照明およびPHV・EV導入を契機としたCO₂削減、および防犯・防災対応能力向上事業【村田町】

視点5 地域循環共生圏形成のための人材の充実

5事業・・・1415万円

地域循環共生圏の形成の助けとなる人材の育成や環境教育の一層の充実を図る取り組みを推進します。

自然の家 人と自然の交流事業

182万円



県内3カ所にある県立自然の家(蔵王、松島、志津川)の立地を生かしたさまざまな自然体験活動プログラムを通して、人と自然が調和して生きる大切さに気付くことができる人材を育成します。

松島自然の家 バードウォッチングの様子

児童・生徒のための環境教育推進事業

274万円

持続可能な社会の実現に向けて、NPO・学校などと協働しながら、児童・生徒が環境に配慮した行動を主体的に実践できるよう、質の高い環境教育を実施します。



環境教育出前講座の様子

視点2 森林の保全および機能強化

13事業・・・6億7414万円

二酸化炭素の吸収をはじめとした多面的機能を持つ森林や里山の管理・保全および森林資源を活用するための取り組みを推進します。

チャレンジ!みやぎ500万本造林事業

1億2734万円



森林の若返りによって二酸化炭素の吸収機能を高め、地球温暖化防止を図るため、低コスト造林の実証や花粉発生源対策への取り組みを進めながら再造林を推進します。

森林を次代につなぐ再造林

授乳室設置促進事業

600万円

県内事業所による置き型授乳室設置および県産木材の利用を一体的に推進するため、県産木材を活用した置き型授乳室の設置費用の一部を助成します。



県産木材を活用した置き型授乳室

視点1 脱炭素社会の推進

16事業・・・8億6195万円

環境配慮と経済発展が両立する地域社会を構築するため、家庭や事業所における積極的な二酸化炭素の削減に向けた取り組みを推進します。

みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業

3億1327万円



事業活動に伴う環境負荷低減を図るため、省エネ・再エネの設備導入や研究開発などに要する経費の一部を補助することなどにより、県内事業者による二酸化炭素排出削減の取り組みを支援します。

地中熱を利用したイチゴ栽培

スマートエネルギー住宅普及促進事業

3億2690万円

家庭からの二酸化炭素排出削減や災害時などに電気や熱を確保できる住まいの普及に向け、太陽光発電システムや蓄電池などの設置、住宅の省エネ改修、みやぎゼロエネルギー住宅*の新築に対する助成などを行います。



住宅展示場での普及啓発イベント

※断熱性能強化や省エネ・再エネの導入によりエネルギー収支を0とした住宅